

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月 9日 更新

事務事業名		農業者年金事務事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	6	産業の健康			所属部	農業委員会	課長名	坂上 範行	
	施策	26	農業の振興			所属課	農業委員会	担当者名	丸田 朱莉	
	施策の柱	69	生産基盤の確保と経営力の強化			所属班	農地班	(内線)	5233	
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	農業者年金基金法			
	一般	6	1	2	10292					
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	農業者の老後の生活安定と福祉の向上を図るため、農業者年金への加入を推進する。併せて、年金受給資格取得喪失等の関係事務を行なう。 背景として、年金財政破綻の危機により、平成14年法改正、現役世代(加入者)の保険料で賄う賦課方式から、加入者自ら積み立てる積立方式に改められた。
【業務の流れ】	年金加入関係書類の審査・進達、加入者の受給手続き、受給者資格審査・資格変更の進達未加入者加入促進
【主な予算費目】	諸収入(農業者年金業務委託手数料)、時間外手当、旅費、需用費、役務費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	今後の農業情勢の不安定化が懸念され、また、国民年金保険料等も上がっていくことが予想され、今後保険料を払っていかれるか心配であり、加入について踏み切れないとの意見あり。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
農業者年金受給者、被保険者、受給待機者からの諸手続き書類を受け付け、農業者年金基金へ進達を行った。加入促進活動については、若手農業者をターゲットに各委員による戸別訪問を行い、パンフレットを活用した制度普及・加入促進を行ったが、新規加入者の獲得にはつながらなかった。 ・届出書類受付数(農業者年金基金への種類進達件数)計 22件 ・新規加入者 0名 ・受給者 232名 ・被保険者 26名 ・受給待機者 57名	農業者年金受給者、加入者、農業者年金受給待機者の諸手続き、加入促進	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
ア 農業従事者数	人	加入促進活動強化のための消耗品費(パンフレット購入費)の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
国民年金1号被保険者で、年間60日以上農業に従事するもの、農業者年金受給者、農業者年金加入者、農業者年金受給待機者	人	ア 加入促進対象者数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
農業者の老後の安定	人	ア 新規農業者年金加入数
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
農業情勢を考慮し、新規目標加入者数を設定		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	人	1,004	1,004	1,000	763	900	900	900	900
② 対象指標	人	40	40	40	40	40	40	40	40
③ 成果指標	人	0	2	1	0	1	1	1	1
投資入費量	財源内訳								
	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	97	121					
	繰入金	千円							
	一般財源	千円		9	183	176	191	250	250
	(A) 事業費計	千円	97	130	183	176	191	250	250
	(A)のうち指定経費	千円	0	6	0	0	7	7	0
	(A)のうち時間外、特別	千円	0	6	0	0	7	7	0
人件費	人	4	0	2	4	2	2	0	
延べ業務時間	時間	114	0	370	164	370	370	370	
(B)人件費計	千円	449	0	1,474	624	1,474	1,474	1,474	
トータルコスト(A)+(B)	千円	546	130	1,657	800	1,665	1,724	1,724	

事務事業名	農業者年金事務事業	所属部	農業委員会	所属課	農業委員会
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 農業者年金新規加入者の目標1名は達成したい。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 問い合わせも増えており、最低1名は確保したい。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 年金加入対象者の中で未加入者がいる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 農業者年金基金法に基づく事務手続きであり、類似事業は無い。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費は、農業者年金基金の事務委託手数料であり削減は困難である。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 課員で最小の事務を行っており、削減の余地は無い。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 農業者年金基金法に基づく事業であり公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 農業者年金基金法に基づく事務手続きであり、移行できない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

農業委員・農地利用最適化推進委員を中心に、農業者への加入推進を図る必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						